



平成 29 年 8 月 1 日

佐 賀 県 内 経 済 情 勢 報 告

平成 2 9 年 8 月

財務省福岡財務支局 佐賀財務事務所

<お問い合わせ先>

佐賀市駅前中央 3 丁目 3 番 20 号 佐賀第 2 合同庁舎

財務省福岡財務支局 佐賀財務事務所 財務課


電話 (0952) 32-7161

ホームページアドレス

<http://fukuoka.mof.go.jp/html/saga/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している。」

項目	前回（29年4月判断）	今回（29年7月判断）	前回比較
総括判断	持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	

（注）29年7月判断は、前回4月判断以降、7月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は持ち直しつつあるほか、生産活動は持ち直しつつあり、雇用情勢は改善している。

【各項目の判断】

項目	前回（29年4月判断）	今回（29年7月判断）	前回比較
----	-------------	-------------	------

個人消費	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある	
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用情勢	改善している	改善している	

設備投資	28年度は前年度を上回る見込み	29年度は前年度を上回る見通し	
企業収益	28年度は減益見込み	29年度は増益見通し	
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに景気回復に向かうことが期待される。ただし、海外経済の不確実性などに留意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直しつつある」

個人消費をみると、百貨店・スーパー販売は、衣料品は夏物衣料が好調であるほか、飲食料品は惣菜や飲料等が好調で、衣料品、飲食料品ともに前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、引き続き好調となっている。乗用車販売は、新型車発売等の影響で、普通車、小型車、軽自動車ともに前年を上回っている。家電販売は、携帯電話が好調である。

(主なヒアリング結果)

- 例年より晴れの日が多かったことから、飲料が好調であったほか、夏物衣料も好調に推移した。(スーパー、大企業)
- 共働きや単身世帯の増加に伴い、惣菜商品の売上が好調である。(スーパー、中小企業)
- 乗用車販売は、新型車などの売れ行きが好調なことから前年を上回っており、全体として回復傾向にある。(自動車販売団体)
- 携帯電話業界の競争激化に伴い、各種プランが次々に発表されていることから、様々なキャリアで売上が増加傾向にある。(家電販売店、大企業)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

生産活動は、鉱工業生産指数をみると、一般機械等で低下しているものの、金属製品等で上昇していることから、全体では上昇している。なお、生コンクリート出荷数量は前年を上回っている。

- 受注状況は概ね前年並みで、金額ベースでは前年同期の売上高を上回っており、生産面では、操業度は上がっていく見込み。(一般機械、中堅企業)
- 北米や中国等への海外向け及び国内向けともに、引き続き好調である。生産面では、操業度は高操業の状態が続いており、当面は現在の状況が続くと思われる。(金属製品、中堅企業)
- 省エネに関する製品の需要が増加していることから4-6月期の売上は前年を大きく上回っており、受注も増加傾向にあることから今後操業度は増加するものと思われる。(電気機械器具、中小企業)

■ 雇用情勢 「改善している」

雇用情勢は、有効求人倍率は、引き続き高水準で推移している。新規求人数は、製造業等で増加していることから、全体では前年を上回っている。新規求職者数は、前年を下回っている。

- 従業員数は不足している。人手不足解消のため、平成29年から新たに派遣社員の募集を行っているものの、応募状況は悪い。(食料品、中小企業)
- ドライバーが不足しており、募集を行っているものの応募状況は悪く、充足していない。(運輸業・郵便業、中小企業)
- 有効求人倍率は、引き続き上昇傾向にある。雇用環境は、正社員の有効求人倍率が高水準を維持していることなどから、良い状況が続いている。(労働局)

■ **設備投資** 「29年度は増加見通し」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年4-6月期

29年度の設備投資額は、製造業は前年比13.0%の増加見通し、非製造業は同4.0%の減少見通しとなっており、全産業では同7.5%の増加見通しとなっている。規模別にみると、大企業、中堅企業、中小企業いずれも増加見通しとなっている。

■ **企業収益** 「29年度は増益見通し」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年4-6月期

29年度の経常利益(「電気・ガス・水道業」及び「金融業、保険業」を除く)は、製造業は前年比1.8%の増益見通し、非製造業は同11.6%の増益見通しとなっており、全産業では同4.8%の増益見通しとなっている。規模別にみると、大企業は増益見通し、中堅企業、中小企業は減益見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を下回っている」

住宅建設を新設住宅着工戸数でみると、前年を下回っている。

■ **公共事業** 「前年度を上回っている」

公共事業を公共工事前払金保証請負金額(29年度累計)でみると、前年度を上回っている。

(その他項目)

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査(29年4~6月期)の景況判断BSIでみると、29年4~6月期は、「下降」超に転じている。先行きについては、29年7~9月期は、「上昇」超に転じる見通しとなっている。
- 企業倒産の件数は、前年を下回っている。
- 消費者物価(佐賀市)は、前年を上回っている。